

「日々の理科」(第 2999 号) 2022, 10, 23

## 「秋の東北鉄道旅行(5)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所 研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

政府の全国旅行推進の影響で、盛岡市内のホテルも軒並み値上がりしていた。特に駅の東側の開運橋方面のホテルは、ビジネスホテルでも、シングルで 15000 円~20000 円もする。私は「じゃらん、ジャラン!」で、駅に西側の少し寂しい地域のビジネスホテルをやっと見つけた。それでも 7000 円以上した。



翌朝は下り一番の新幹線に乗るので、駅から徒歩 5 分のホテルは助かった。晴れていたら開運橋まで行って、岩手山のスケッチをしたかったのだが、残念ながら曇り。近くの山は見えたが、岩手山は見えなかった。



盛岡北緯 40 度近いので、東京よりも寒い。この時期東北地方を旅行するなら、長袖にジャンパーも必要である。私は暑がりだが、薄手のジャンパーを持参していた。駅前の街路樹は、もう紅葉が始まっていた。



新幹線開業前の盛岡駅は、在来線のターミナル駅として大いに賑わっていた。東京から直通の特急や寝台列車も次々と発着していた。在来線の敷地は広大だが、今発着するのは各駅停車のみである。



それでも「JR 東北本線」「JR 山田線」「JR 田沢湖線(秋田新幹線の線路を走る在来線)」「いわて銀河鉄道線(第三セクター)」と、盛岡駅を発着する路線は賑やかだ。全部乗ってみたいが、今回は新幹線で更に北に向かうことにする。



盛岡駅の東北新幹線下り一番列車は、6 時 54 分発の「はやて 93 号」だ。青函トンネルを通過して、北海道まで直通する列車だ。ホームは閑散としていた。